

《7日間ブックカバーチャレンジ》

2020年5月4日（月）～10日（日）

柳沢克央 facebook より

◆「#7日間ブックカバーチャレンジ」(1/7)

◆茨木のり子・谷川俊太郎・他『おーいぼんた』(詩集) (福音館書店)

◆知人の Kiyofumi Kobayashi 氏より依頼があり、このことを受けて投稿を開始します。

◆じつは、このことについて少し躊躇しましたが、「軽〜い気持ちで取り組んでもよい」とのことでしたので、文字通りに受け止めることとしました。

◆10年以上前に Kobayashi 氏は頻繁に「お読みください」と題した高校生向け「国語通信」を発行されていました。

◆数々の名文をご紹介いただいたことに、深く感謝しております。

◆特に印象に残っているのは沢木耕太郎『深夜特急』です。

◆中東の古都で意中の品をその素振りを隠しつつ、数日かけて値切る場面。

◆その延長線上で…とも思いましたが、ひと晩考えて、今回は「絵本・大人も楽しめる子ども向けの本シリーズ」とすることといたしました。

◆付かず離れずの文章を付加して進めることにします。

◆谷川俊太郎氏は知人ぞ知るクルマ好き。

◆やっぱり豪華な車ではなくて瀟洒な雰囲気車をセレクトされている。

◆さすがに「セルフプロデュース」に長けていらっしゃる。

◆言葉を大切にすると同時に、自分の生き方も大切にしている。学ぶべきことは多い。

◇とくに次の方を私から指名することは考えておりません。ただ、こうした取り組みをキッカケとして facebook 投稿を推進力とされたい方にはぜひとも自発的に取り組まれることをお奨めします。

◇自発的に取り組めば、必ずや何かを得られることと確信しております。板倉聖宣『発想法かるた』（仮説社・1992年）75ペ「ビニールも切れ込みがあれば切れる」＝「きっかけの論理」



#bookcoverchallenge

◆「# 7 日間ブックカバーチャレンジ」(2/7)

◆ルドミラ・ゼーマン編『#ギルガメシュ王ものがたり』(岩波書店) ほか全 3 冊

- ◆「#ギルガメシュ叙事詩」に基づく、壮大な英雄伝。
- ◆想像力をかき立ててくれる挿絵も素晴らしい。
- ◆冒険譚だから、「ちょっと怖い」画もある。
- ◆そこがまたいい。男の向け…かな。
- ◆谷川『#ことばあそびうた (正・続)』(福音館書店) について Kobayashi 氏よりコメントあり。
- ◆私自身も楽しんで読み聞かせしました。
- ◆やはり、子どもがきゃっきゃと喜びました。言葉の持っている底力に驚きを新たにしました。
- ◆音楽にも同様の力があります。
- ◆チャイコフスキーの幻想序曲『#ロメオとジュリエット』を長男が小さな時に一緒に聴いていました。
- ◆最初から 6 分ぐらいのところ、信じられないことが起こりました。
- ◆「モンターギュ家とキャピュレット家との闘争」を暗示する「歯切れの良い旋律」が出てきた時のことです。
- ◆なんと…、なんと長男がたまたま寝室に転がっていたプラスチック製のバットをつかんで、私に襲いかかってきたのです！
- ◆音楽が何も知らない子どもの感覚に訴えて、このような行動を起こさせることに心底、驚いたものでした。
- ◆当の長男は音楽的背景のことも、この出来事がいかにすごいことなのか、まったく覚えていないようですが…。



◇とくに次の方を私から指名することは考えておりません。ただ、こうした取り組みをキッカケとして facebook 投稿を推進力とされたい方にはぜひとも自発的に取り組まれることをお奨めします。

◇自発的に取り組めば、必ずや何かを得られることと確信しております。#板倉聖宣『#発想法かるた』(仮説社・1992 年) 75 ペ「ビニールも切れ込みがあれば切れる」=「きっかけの論理」

#bookcoverchallenge

◆「# 7 日間ブックカバーチャレンジ」(3/7)

◆H.A.レイ作『#ひとまねこざる』(岩波書店) (大判もあり) #CuriousGeorge

- ◆現在でも「#おさるのジョージ」としてアニメーションが放映されているらしいが、私の眼には全く別ものに見える。
- ◆私はこの絵本の絵のような繊細な筆のタッチを好む。

◆ 極端なはなし、この本でジョージが「#エーテル」で夢見心地になるシーンが強烈に刷り込まれて、「大きくなったら、エーテルとやらのにおいを確かめてやろう」と思い込み、気がついてみたら、この稼業についていた…、そのぐらい繰り返し繰り返し読んでもらった（そして、自らも読んだ）。

◆ 「刷り込み」畏るべし。

◆ 20 年ほど前に書店に行ったら、大判が出ていたので、こちらを子どもたちに読んであげるために買った。

◆ 出版社はかなりこうした「買い替え需要」で潤っているのではないだろうか。

◆ そして、柳の下にはドジョウが何匹もいるらしく、「シリーズのラインナップがにぎやかだ」。

◆ 付け加えれば、こんなことも。中学生のころ宇宙物理学の本で、「宇宙にはエーテルが充満している」という理論を初めて知った。「おお、なんと宇宙は素晴らしいところだろうか」と思って読み進めていたのだが、なんだか、光の速さの話題ばかりで、「いい匂いの物質」の話は全く出てこなかった。だから、失望し、さっぱり訳が分からなくなってしまった…ということもあった。

◆ というわけで、苦手な方もいるようだが、ジエチルエーテルの香りは私にとっては悪くないそれである。

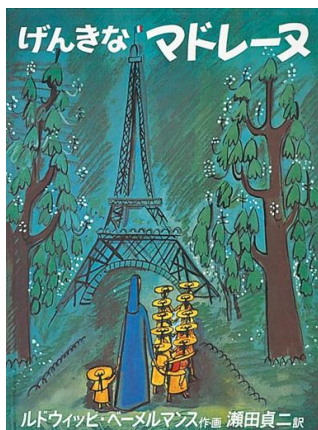
◆ 「まね」は「猿真似」などと、軽蔑されることも多いが、ジョージの「まね」は楽しく、人々の心を明るくさせるものが多いので「#創造的模倣」として認めるにやぶさかではない。

◆ （狂歌）ひと口に「まね」といっても「よい」ものと「そうでない」のがあるということ。

◇ とくに次の方を私から指名することは考えておりません。ただ、こうした取り組みをキッカケとして facebook 投稿を推進力とされたい方にはぜひとも自発的に取り組まれることをお奨めします。

◇ 自発的に取り組めば、必ずや何かを得られることと確信しております。#板倉聖宣『#発想法かるた』（仮説社・1992 年）75 ペ「ビニールも切れ込みがあれば切れる」=「きっかけの論理」

#bookcoverchallenge



◆ 「# 7 日間ブックカバーチャレンジ」(4/7)

◆ 女の子が乗ってきやすい本をご紹介します。

◆ ベームルマンズ作『#げんきなマドレーヌ』(福音館書店)

#Madeline のキャラクターは「おてんば」さんで魅力的。

◆ 味のあるタッチのイラストはさすがおフランスのご本ザマス。

◆ マドレーヌというと「手づくりお菓子」を思い出してしまう。



- ◆あの焼き菓子に手が込んでいないけど、とても美味しい。
- ◆そういえば、いま、時間がたっぷりあるから、家でパン作りを楽しむ人が多いのだとか。
- ◆焼きたてのパンには、たしかに炊きたてのご飯に通ずる魅力がある。
- ◆#立川談志 が「日本人とは米と富士山と桜の好きな人のこと」と定義したという。さすがである。
- ◆美味しいパンを食べているとき、私自身の中で、この定義がやや、ゆらいでいる。
- ◆数年前、自身の定義を「日本人」から「信州人」に変えてみたら、とたんに息苦しさから解放された。
- ◆以来、「アイデンティティを意識化することには確固たる意義がある」と考えるようになった。
- ◆ふふふ、『げんきなマドレーヌ』で「アイデンティティ」を論ずるなんて、やっぱり信州人だな～。

◇とくに次の方を私から指名することは考えておりません。ただ、こうした取り組みをキッカケとして facebook 投稿を推進力とされたい方にはぜひとも自発的に取り組まれることをお奨めします。

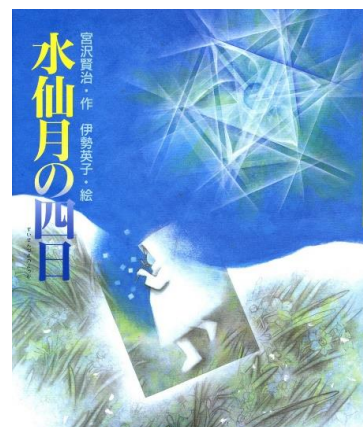
◇自発的に取り組めば、必ずや何かを得られることと確信しております。#板倉聖宣『#発想法かるた』（仮説社・1992年）75 ペ「ビニールも切れ込みがあれば切れる」=「きっかけの論理」

#bookcoverchallenge

◆「# 7 日間ブックカバーチャレンジ」(5/7)

◆ #宮沢賢治 作『#水仙月の四日』（偕成社・絶版?）

- ◆絵本は文章とさし画の相乗効果が楽しめる。本書もその典型的な成功例。
- ◆アタリマエだけれどもこれは大切。
- ◆ほんとうに良い絵本は大人にとっても魅力的だ。



- ◆宮沢賢治は好みが分かれる作家であるようだ。
- ◆しかし、この作品はかなりの人に共感してもらえるのではなかろうか。
- ◆「水仙月」とは何月のことなのか、読めば気になって仕方なくなることだろう。
- ◆興味を持たれたら、探究してみることをお奨めします。

- ◆宮沢賢治の代表作の一つ「#雨ニモ負ケズ」の一節に「一日ニ玄米四合ト…」とのくだりがある。
- ◆朗読してみるとはっきりとわかるのだが、「げんまいよんごうと…」と読むと間抜けに感じられる。
- ◆#山本夏彦 が「げんまいしごうと…」と読むべきであると言っている。
- ◆私も山本夏彦氏を支持する。朗読してみたの結論である。

◇とくに次の方を私から指名することは考えておりません。ただ、こうした取り組みをキッカケとして facebook 投稿を推進力とされたい方にはぜひとも自発的に取り組まれることをお奨めします。

◇自発的に取り組めば、必ずや何かを得られることと確信しております。#板倉聖宣『#発想法かるた』（仮説社・1992年）75ペ「ビニールも切れ込みがあれば切れる」=「きっかけの論理」

#bookcoverchallenge

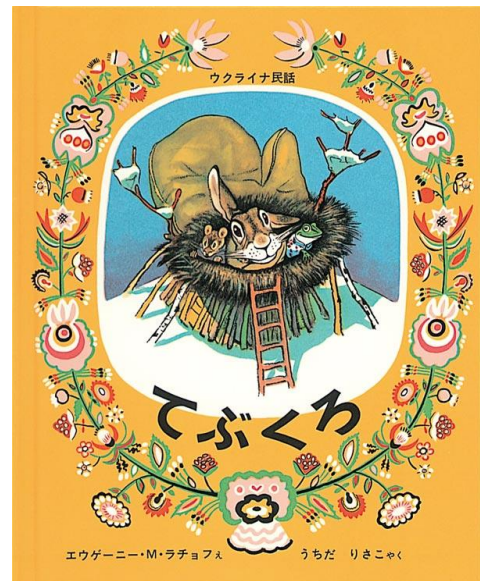
◆「#7日間ブックカバーチャレンジ」(6/7)

◆エウゲーニ・M・ラチョフ画 #ウクライナ民話『#てぶくろ』（福音館書店）

- ◆#ロシア民話・#ウクライナ民話 の繰り返しは「清々しいほどに馬鹿馬鹿しい」ところが素晴らしい。たとえば #おおきなかぶ
- ◆民話の「馬鹿馬鹿しさ」は「楽しさ」に通じている。

- ◆#古典落語 = 落とし噺、小咄は笑える。
- ◆なぜかというと、ある段階までは予想通りに事が進むが、だいたい三段階目で「思いきり落とされる」から。

- ◆たとえば、「耳の掃除をしましょう！」。
- ◆#志ん生 落語の「耳かきサービス」には「上」「中」「並」というグレードが。
- ◆「上」は「金の耳かき」を使ってくれる。
- ◆「中」は「象牙製」。納得。
- ◆「並」は？…ここで聴衆は「竹製だろう」と予想する。
- ◆ところが、古今亭は「並は《五寸ぎのアタマ》で！」と演ずる。
- ◆ここでドスンと落とされて大笑いになる。
- ◆つまり「#緊張と緩和」が笑いの秘密。
- ◆ここでも鍵は「#映像化」=「聴衆の想像力に依拠してる」。



- ◆この点で、古典落語の将来は五寸くぎに暗示されており、あまり明るくない。
- ◆いまの若者は「五寸くぎ」を知らない…。
- ◆「ごすんくぎ」ってオーディオ的にとっても破壊力に富んだ素晴らしいコトノハだ。
- ◆日本人は三段階で満足してしまうが、ロシア人・ウクライナ人は体力的にもっとずっと「うわて」で「粘り強い」ところが民話から浮かび上がってくる。
- ◆たとえば #マトリョーシカ も「繰り返し」だったな～。
- ◆こういう背景を持った人間と「外交交渉」や「体力勝負」を本気でやるのは相当に厳しいだろう。
- ◆「落とし噺」に戻って類推する。#芥川龍之介 の作品は絵本にしない方が良いこと多し。
- ◆「#トロッコ」は映像化してもよいかもしれないが、「#鼻」「#杜子春」「#蜘蛛の糸」「#地獄変」などは無理に絵本にしない方が味わいが深くなる…のではなからうか。

◇とくに次の方を私から指名することは考えておりません。ただ、こうした取り組みをキッカケとして facebook 投稿を推進力とされたい方にはぜひとも自発的に取り組まれることをお奨めします。

◇自発的に取り組めば、必ずや何かを得られることと確信しております。#板倉聖宣『#発想法かるた』（仮説社・1992年）75 ペ「ビニールも切れ込みがあれば切れる」=「きっかけの論理」

#bookcoverchallenge

◆「#7日間ブックカバーチャレンジ」(7/7)

◆#齊藤隆介 作『#モチモチの木』（岩崎書店）



- ◆よく売れているようです。「モチモチの本」。
- ◆絵本は文章とさし画の相乗効果が楽しめる。
- ◆本書もその典型的な成功例。
- ◆この表紙から、昭和の「#オイルショック 前の空気」がいろいろと思い出される。
- ◆私が現役の小学生のころ、朝日新聞の日曜版にきれいな切り絵が掲載されていた。

- ◆「切れ長」の目が印象深い。
- ◆この物語と映画『#ふるさと』は「相似形」に感じられる。
- ◆郷愁、慈悲、失われゆく日本人の原風景。それゆえの美しさ。

◇とくに次の方を私から指名することは考えておりません。ただ、こうした取り組みをキッカケとして facebook 投稿を推進力とされたい方にはぜひとも自発的に取り組まれることをお奨めします。

◇自発的に取り組めば、必ずや何かを得られることと確信しております。

◇Kobayashi 氏のおかげで、大げさに言えば、一つの「まとまった仕事」ができたと思います。

◇Kobayashi 氏に深甚なる敬意と感謝。このような機会をいただき、ありがとうございます。

◇全体を俯瞰するため、別に総集編を作成します。私なりの視点がヨリ鮮明に顕れるはずです。

◇お読みいただいたみなさまにも、あつく御礼申し上げます。

#板倉聖宣『#発想法かるた』（仮説社・1992年）75ペ「ビニールも切れ込みがあれば切れる」=「きっかけの論理」 #bookcoverchallenge

「#7日間ブックカバーチャレンジ」(#柳沢克央・総集編)

- 1.茨木のり子・谷川俊太郎ほか『#おーいぽぽんた』（詩集）（福音館書店）
- 2.ルドミラ・ゼーマン編『#ギルガメシュ王ものがたり』（岩波書店）ほか全3冊
- 3.H.A.レイ作『#ひとまねこざる』（岩波書店）（大判もあり）。#CuriousGeorge
- 4.ペーメルマンズ作『#げんきなマドレーヌ』（福音館書店）#Madeline
- 5.宮沢賢治 作『#水仙月の四日』（偕成社）
- 6.エウゲーニ.M.ラチョフ編 ウクライナ民話『#てぶくろ』（福音館書店）
- 7.齊藤隆介作『#モチモチの木』（岩崎書店）

◆総集編を作成してみました。さらに追加したい本がたくさんありますが、「腹八分目」も大切でしょう。

◆7冊そろると、ハッキリと好みが変わるものと思われます。

◆出版社だけ俯瞰すれば「メジャー好み」は明らか（笑）。

◆みなさま、お付き合いいただきありがとうございます。

◆読書について振り返ってみることができ、とても良い機会となりました。

◇これらの本を選ぶ際に、産院でもらった無料のパンフレットはとても参考になりました。

◇意外なところに、宝物情報がころがっている場合があるということを、意外なことに、私は産院で学んだのです。

◇以下は「ほるぷ」ページより採録。

◇「王道をゆく」、実績と風格あふれる「原則」を熟読玩味されたし。

◆良い絵本とは 子供の気持ちをとらえ、興味と想像力を引き出してくれる明快な絵と、やさしく心にひびく文学性豊かな言葉がとけあって、芸術的な表現をしている絵本です。

◆絵とは…

- 見ているだけで、頭の中に物語の展開をイメージさせてくれるもの。
- 明快で、子供たちの想像力を呼び起こしてくれるもの。
- 子供たちが素直に感情移入できるもの。

◆ことばとは…

- 正しく美しい日本語で子供の年代に理解できる言葉で書かれているもの。
- 平明、簡潔に述べられ、起伏に富み、面白く読めるもの。
- やさしくリズムカルな響きをもっているもの。
- 子どもたちの想像力に働きかけ、対話を可能にする要素があるもの。

◆読み聞かせのポイント

- 素直に飾り気なく、心をこめて読みましょう。
- 子どもの自主的な質問には、一緒になって話し合しましょう。
- 子どものお気に入りの絵本は、くり返し読んでやりましょう。
- 子どもが絵本を持ってきたら、読み聞かせの時間を必ずつくってやるようにしましょう。
- 読み聞かせに年齢はありません。親と子の交流の時と考えて時間をつくりましょう。

紹介以上

◇Kobayashi 氏のおかげで、大げさに言えば、一つの「まとまった仕事」ができたと思います。

◇Kobayashi 氏に深甚なる敬意と感謝。このような機会をいただき、ありがとうございます。

◇全体を俯瞰するため、総集編を作成いたしました。私なりの視点がヨリ鮮明に顕れている…かな。

◇最後までお読みいただいたみなさまに、あつく御礼申し上げます。

◇Enjoy Your Life.Thank You. (了)